

【自由記述】 個人が特定される内容については、本人に伝えました。

にじいろ活動などで学年問わず交流する場があるおかげで、学年問わずたくさんの友達ができて楽しく学校生活を送れています。ありがとうございます

学校側が頑張っている事は伝わってきてます。ただ我が子に関しては残念ながら意識が薄いように感じてます。

あいさつは人生で必要不可欠だと思うので、これからもあいさつが出来るように指導して頂ければ幸いです。

コミュニティスクールは結局、よく分からなかったです。

登校指導や見守りの時などしかわかりませんが、みんな挨拶ができていると感じませんでした。家庭でも挨拶については伝えていきたいと思います。

スポーツが好きなので野球部など、今学校に無いクラブなども作ってほしいです。

チャレンジしていく子供の姿勢を大事にしたいと思います。

とても良い事だと思います。

良い取り組みだと思います。一時的なイベント事ではなく、継続的に取り組むことで、子供達にも伝わるのではと思います。

直前での保護者が参観できる行事をやめて欲しい。急に仕事を休めないで、子供にかわいそうな思いをさせてしまう。

以前のアンケートで同じような意見が出ていて「ご理解頂きたい」とのご返答でしたが、なるべく子供の行事に参加してあげたい。子供に寂しい思いをさせたくない。そう思う保護者の気持ちもご理解頂きたいです。

登校指導をした際にほとんどあいさつを返してくれなかった。もちろん返してくれる児童もいたが本当に少数に感じました。また、子供自身の肌感覚にはなりますがあいさつ運動をしても9割は返してくれないと言っていました。あいさつは「あかるく、いつも、先に、続ける」だと個人的には思っていますし、子供にもそう言い聞かせています。また設問とは異なりますが、かつ子供がご迷惑をおかけしていた部分もありますが、先生の対応が発達グレーやなにか問題があるとでも言いたげな半ば決めつけのような対応をされ、とても不快でした。時代が時代なのかもしれませんが、早めに対処したい事とは思いますが、干渉し過ぎだと感じました。

登校中に先生に会うと進んで挨拶できるようになりました。

挨拶運動に参加するなど意識を持てていると思います。

縄跳び練習や陸上大会参加など向上心を持って過ごせていると思います。

保護者の負担が前より増えた。

授業参加とか来られる人だけで良いみたいな言い方をしているが、子供はほうは思わず来てほしいと言われると行かないわけにはいかない！

結果仕事の調整をしなくてはならず…

今までのように授業参観だけで充分。

コミュニティスクールはずっと続くのでしょうか？

任意といいながらも、こちらの勝手な感じ方ですが負担に感じます。同月に参観、コミュニティスクールとあると予定のやりくりが大変でした。

うちでは幼少期から言ってきましたが、自分から挨拶する場面が増えて、家でも学校でも生かされてるのではないかと思います。

家でも積極的に発言をしたり、手伝いをしたりする場面が増えました。周りのお友達とも普段の生活や行動についても話するようで、とてもいい刺激になっているのではないかと思います。

いいと思う

入学当初は子供が自分から元気に挨拶するようになったと思うが最近は慣れたのかあまり挨拶をしていない気がする。

- ・運動会で体操服を入れるか入れないかの統一をしてほしいと思いました。中学校では、体操服のTシャツはズボンに入れて競技をしていました。体操服を入れないのは、熱中症対策だと思いますが、開閉会式や競技中まで児童の服装を統一しない理由があるなら知りたいです。また、ふらふらする子への声かけや指導はされているのか気になりました。

- ・運動会練習期間、子どもが毎日時間割通りの持ち物を準備していましたが、運動会練習もあるでしょうから全て持って行く必要は無いだろうにと思っていました。先生方から児童に持ち物について連絡があったのかもしれませんが。音読の宿題がある国語の教科書以外は学校への置きっぱなしや、運動会練習時間を含めた持ち物の連絡があるとありがたいです。熱中症対策と言われているのに、暑い中その日に使わない教科を含めた重たい荷物を持って行くのはどうなのかなと思いました。また、3時間授業などの特別日課の時間割りも知りたいです。毎回5時間授業のセットを持っていっていました。自分の子どもだけがそうやっていたのかもしれませんが、他クラス、他学年がどのような連絡をしているのかはわかりませんし、一緒に準備をするのは1年生ぐらいだと思うので気になるだけなのかもしれません。

- ・1時間目の授業参加だと、未就学児がいる家庭だと参加したくても難しい人もいたのでは無いかと思います。幼稚園や保育園への送りや、幼稚園バスの時間など。昔遊びの講師の方の都合もあるでしょうが。

- ・授業参加に行けると、子どもと体験の話が共有できるので、ありがたい機会だなと思いながら参加しています。

- ・音楽祭では、どの学年も子どもたちが一生懸命に発表する姿がすてきだなと思いました。自分の子どもの成長も見られて楽しかったです。一方で、鑑賞する側の児童の姿が気になりました。指揮をする先生の後ろで指揮の真似をしたり、他学年の発表中におしゃべりをする児童も見られて残念でした。「共に」と謳っているなら、発表会の際のそのような姿にも声かけをしても良いのでは無いでしょうか。保護者の前だからしないだけでしょ

- ・子ども自身は帰宅すると、学校でのできごとを毎日自分から話してくるので楽しく過ごしているのだなと安心しています。

従来と突然変わって戸惑いもありますが、子供が楽しく参加できてればいいのではないのでしょうか。

「授業参加」、とても良いと思いました。急すぎて行けない、というご意見もありましたが、それが良くて、「この日は空いてないや」と、こちらも済ませることができ、「前もって知らされているのだから、必ず行かなければ!」というプレッシャーが無いのがありがたいです。

「学校行事は行かなきゃいけない」という思い込みを捨てさせてくれる感じがして、好きです。

挨拶はいつも元気でとても素晴らしいと面談で先生から伝えてくれました。学校の雰囲気
が挨拶を進んでできるようになっているんだなと思いました。ありがとうございます。
す。

桜台の生徒は挨拶が苦手なので、とても良い取り組みだと思います。
コミュニティスクールは放課後の1年生のみなののでしょうか?どんな活動なのか知りたいです。
日程が合えば参加させたいです。

共働き世帯には辛い一年でした。
先生方の御負担は理解しますが、全てが平日開催は不公平だと思います。
休めない共働き世帯は、学校教育に加われないのでしょうか。

コミュニティスクールの必要性も分かりませんでした。結学級崩壊が起きている学年もあるようなので、新しい取り組みも結構ですがせめて安心して過ごせる環境は整えてあげて下さい。
コミュニティスクールであれば改善されるのでしょうか？

学校との心理的距離が開いた一年でした。

とても良いと思います。
あいさつ運動も、楽しんで取り組んでいました。
学校が楽しい場所になっています。
ありがとうございます

具体的に何に取り組んでいこうとしているかがわかりません

『チャレンジ』の合い言葉からワクワク感があり、子どもたちに新しいことに挑戦してみたい気持ちを意識させ、とても良い言葉です。

年度を通して、チャレンジの合い言葉が様々な学校行事で耳にすることができ、保護者としても同じ教育目標を持つことができました。来年度も保護者だけでなく、子供自身も自分達の目標として親しみやすい目標の設定と共有をお願いしたいです。

挨拶出来ない子供達が増えている気がします

スペシャルスタディや授業参観でも保護者も参加したり、今後も授業参加の日程もあり、「共に」というテーマに合っていると思います。

良いと思います。
学校に頼らず、家庭でもしっかり挨拶などの躰が重要とっております。
地域全体で挨拶し合える環境にしていきたいものです。

素晴らしいとおもう

あいさつより、規則（マナー）を守ることを概念に考えて欲しいと思っているのですが、難しい事であることは理解をしていますが頑張してほしいです。

毎日の教職員の皆様のご尽力には感謝しております。

ですが、「共に」というのは、荷が重いと感じる一年でした。

校長先生は「児童には、学校では失敗もさせてやりたい」と繰り返し仰っています。
勿論、失敗を通して理解を深められる面がありますし、お互い様の面もあります。
ですが、「失敗」と一言で括られる中には、痛い思い、怖い思いをさせられている児童がいます。

その失敗を継続してされる側の親としては改善を求めますが、なかなか改善が見られない中返ってくるのは「教員不足故に」と先のお言葉の繰り返しです。

「共に」や「コミュニティスクール」の言葉の美しさに甘えて、この事態の責任がどこにあるのか曖昧にされているように感じます。

どの子も大事です。

ですが、このままではやった者勝ちの状況が続いて、「ルールを守る必要性」を理解し実行する者ばかりが我慢を強いられていませんか？

求めるばかりではなく、こちらで出来る事は続けますが、児童の安全だけは最低限守れるようにご協力お願い致します。

挨拶がきちんとできるようになると、街全体が明るくなりますね！

頑張っていて取り組んでくれていると思います。

挨拶は行われていると思うが、「コミュニティスクール」という集まり(会合?)の意義、活用されてる印象はあまり感じられない。

日頃より子どもが大変お世話になっております。
今年は学年活動の代わりにスペシャルスタディ(ボッチャ)に参加しましたが初めてのスポーツを体験しとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。
親子でふれ合える活動があるのは子どもたちの成長が分かるので嬉しいです。
来年度のスペシャルスタディも楽しみにしています。

昔は外で会った人に対して自分から挨拶をしていたが、この頃は気恥ずかしいのか、言わないと挨拶しなくなってしまった。成長過程もあるのかと現在様子見中ですが、学校でも継続してご指導いただきますようお願いします。

先日の授業参観の時に子供が意見を言った後に先生が、えっ?どういうこと?と強めに言っていた。
子供に聞くと、いつもそんな感じだから子供同士で意見言うのこわい。と話したこともあ
るそうです。
手を挙げて当てられる前に話す子もいるので、ずっと同じ子だけ意見を言っていました。
自分の意見を言うのはチャレンジの第一歩だと思いますが、意見を言いづらい空気には
なっていないでしょうか?

・「チャレンジ、チャレンジと毎日言われるが、すでに全力で頑張ってきた、もうこれ以上チャレンジすることは思いあたらないしできない、疲れてしまう。」と言っています。

・年数回のアンケートが形骸化している気がします。アンケートには「悩みなし」「悩みなし」で回答しているのに、実際は悩みがたくさんあります。これをやるのもよいですが、1対1の面談を、ある程度の時間を設けて行い、個人別に具体的な対策をとったほうが、余程効果的ではないでしょうか。

・学校目標のチャレンジもそうですが、もう少し、学校全体、肩の力を抜いてもよいと思います。児童にもよりますが、頑張り過ぎる子に、これらの言葉は、プレッシャーになることを懸念しています。

良い取り組みと思います。

合言葉がどのように活かされているのかがあまりわかりません。

あまり成果は見られない

とても良いと思います。

いつもありがとうございます。

素敵だと思います。

いつもありがとうございます。